

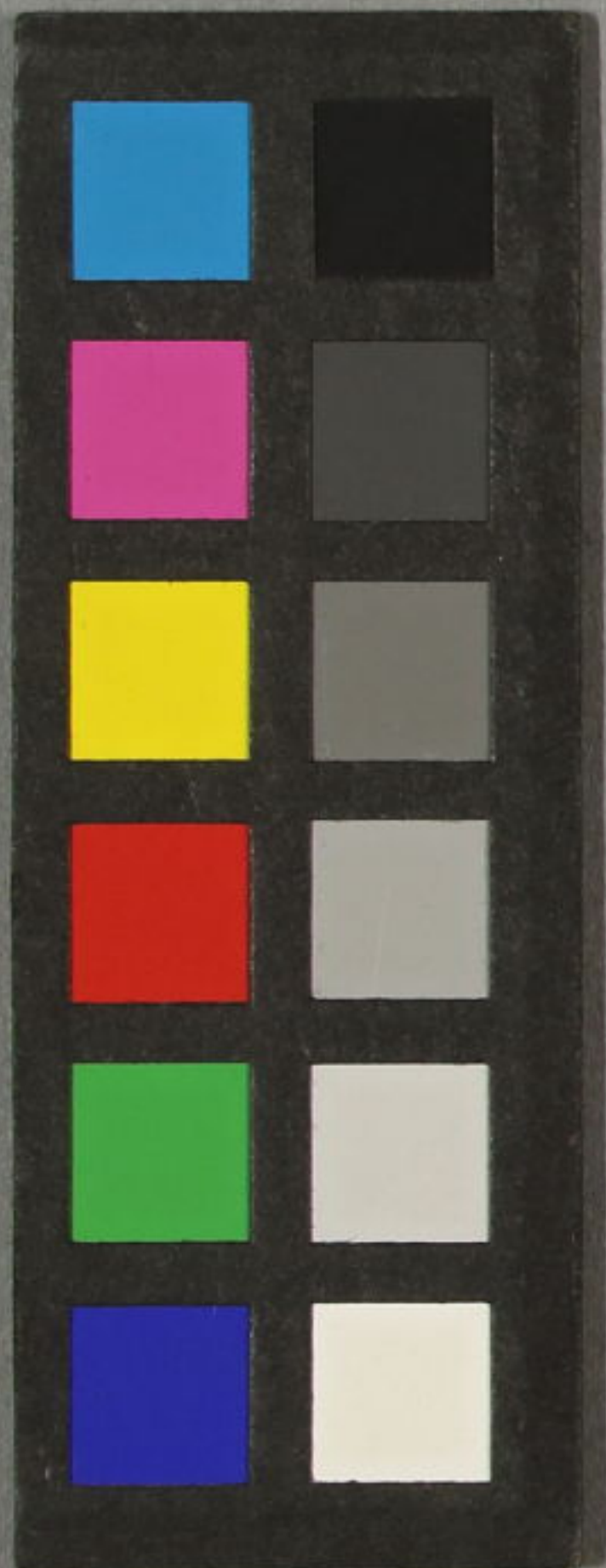


况
 象
 雷
 也
 耀
 画
 種
 象
 傑
 傑
 化
 才十九編



新
 板

^13
 3877
 10

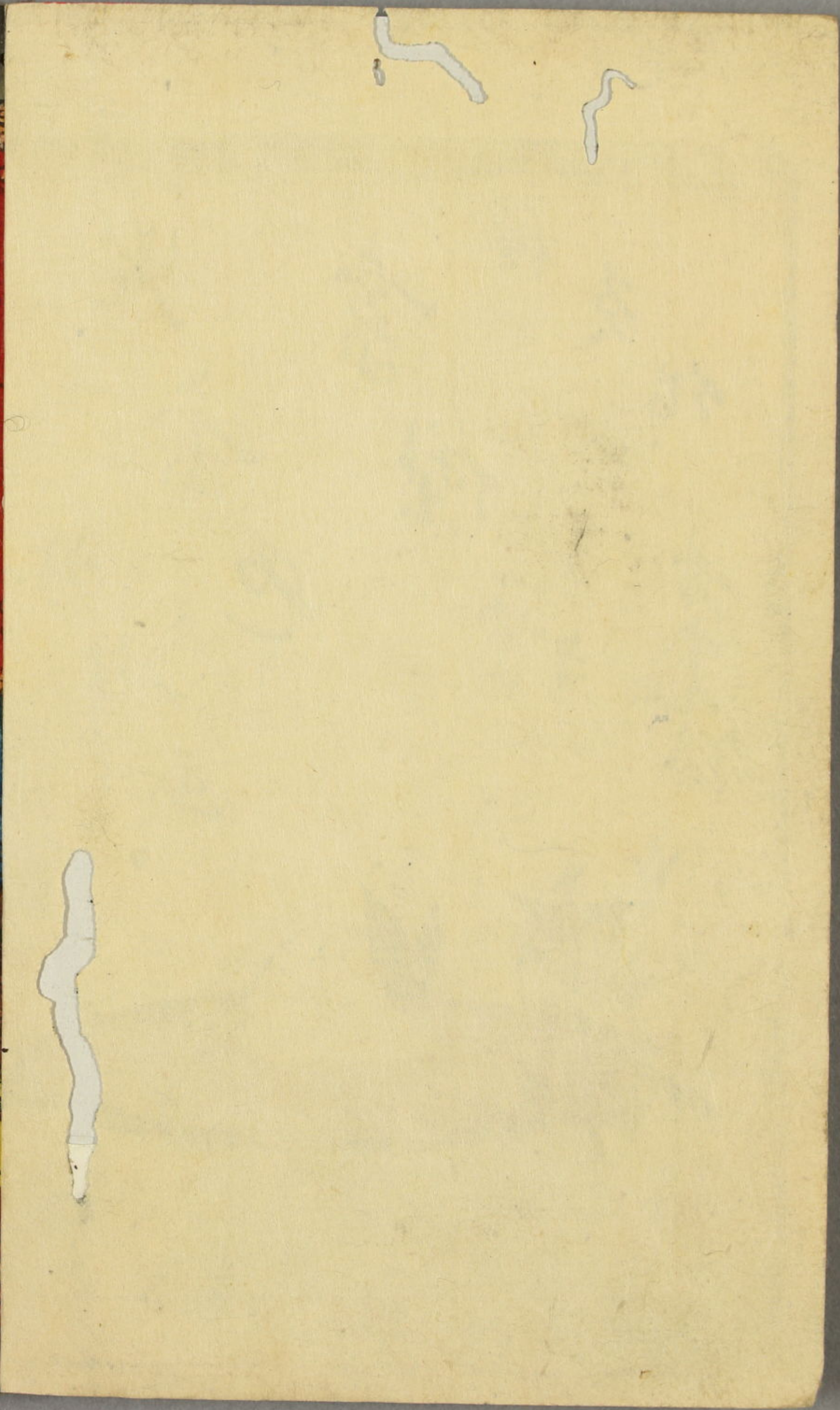


種員作



兒雷也豪傑譚 第十篇

上



門 13
3877
卷 10

見雷也

真象傑

物語

十九編

柳下亭種貞作

上ノ巻

一雄齋國輝画



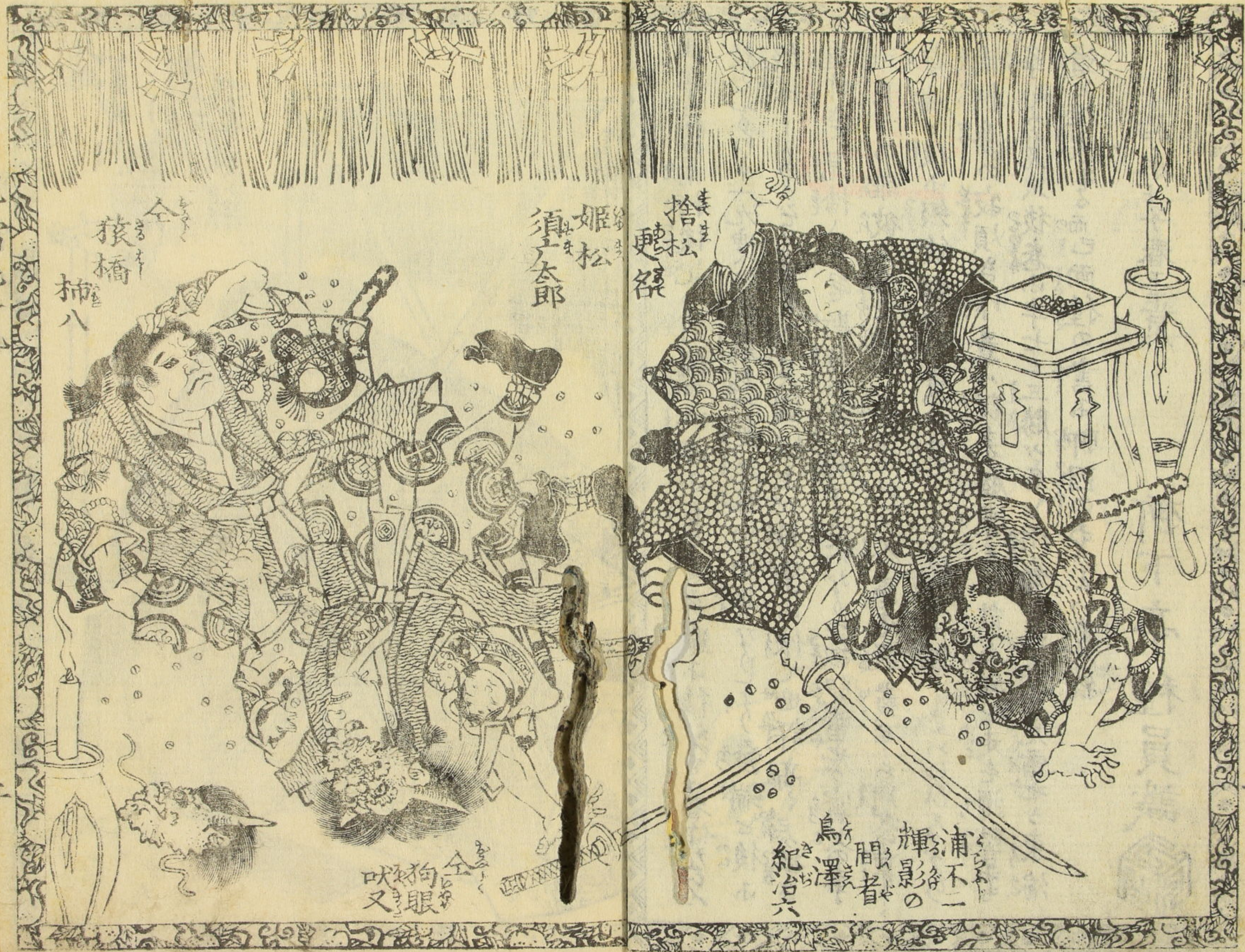
甘泉堂梓

曲亭翁の南柯後記の前編の江湖小傳の遺小後著作なり
欽とちりる一九叟の膝栗毛の幾兒毎小高評なりより發端と後小
綴添しめると此書も則美圖垣主が妙案小依て世評高く拙き
或臣下の誰彼が在世頃の話とも此小不慮と説幾せら前女小稟
幾端と後小綴後編と不意小著しる類中も等しきいひるがら
南柯夢の寂煩き作意に従来膝栗毛の能毛錐と走を滑稽言も
争おらん只後巻小半七と三勝が名と附會と此巻小兒雷也が東海
道と往來する而已兩種の書小聊因のありといはん欽

嘉永壬子春玉正月

柳下亭種貞識





全
小橋
八

全
松姫
須太郎

美
松
捨
姫

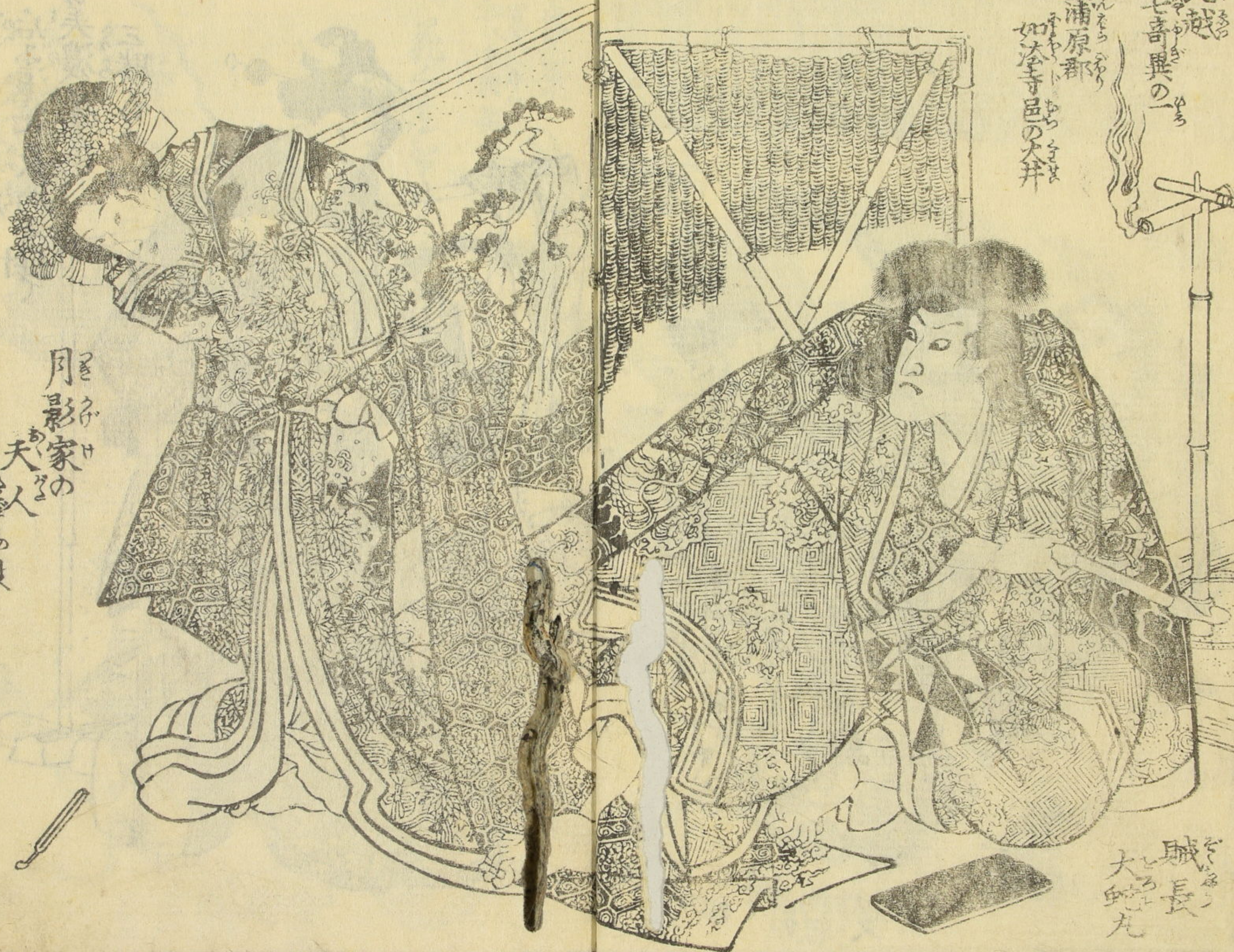
全
狗
又
眼

浦
影
輝
不
二
間
者
鳥
澤
紀
治
六

馬
目
七
十
九

四ノ目

月影家の
夫の
田毎前

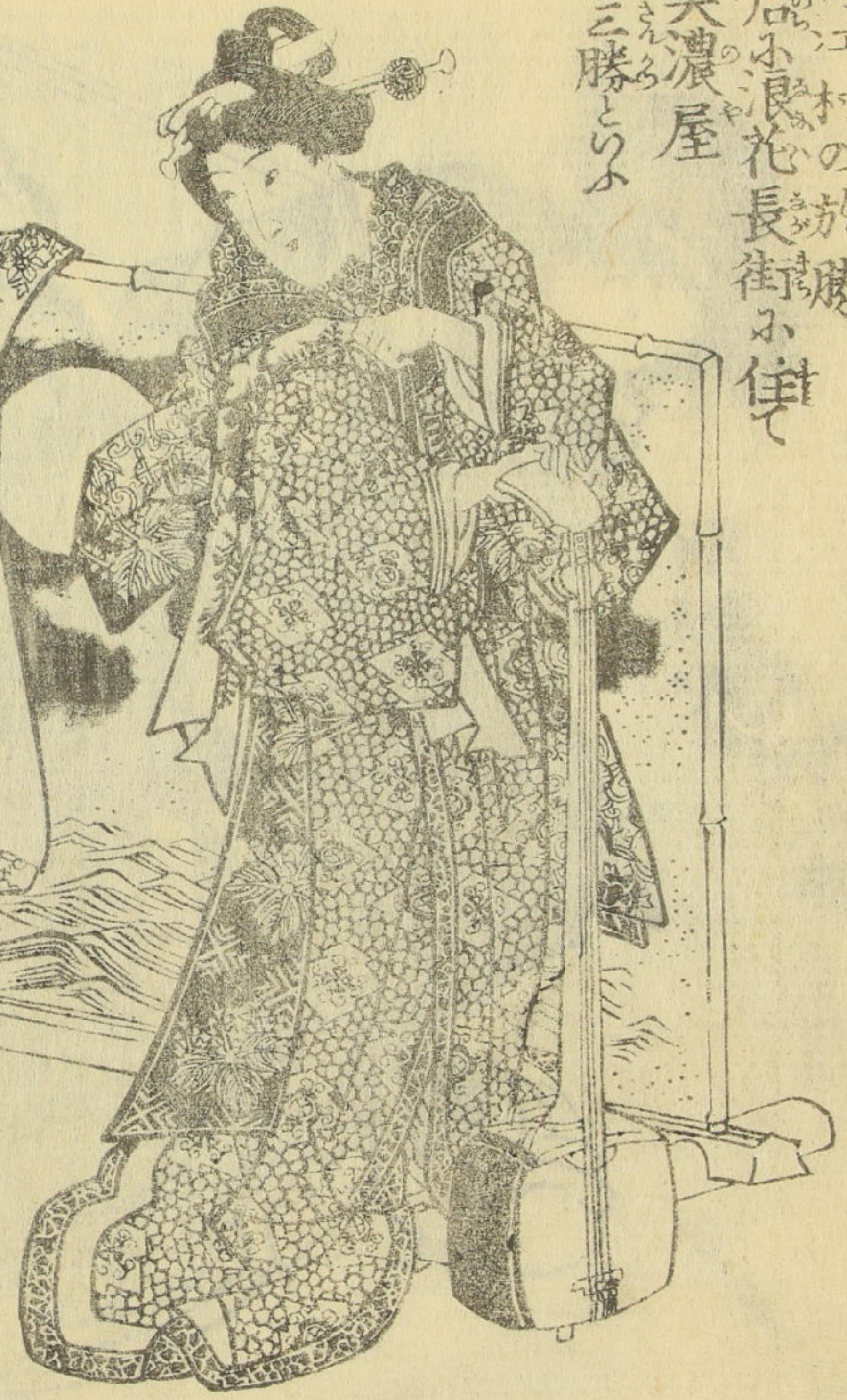


北越
七奇異の一
蒲原郡
如法寺邑の大井

賊長
大蛇丸

馬場

折江村の於勝
后小浪花長街小唄
美濃屋
三勝とり小



小夜中山集

寛文六年行行
松江重頼撰

花のうらやまの乃

つや
好子

金澤長五



名義
今市
金澤

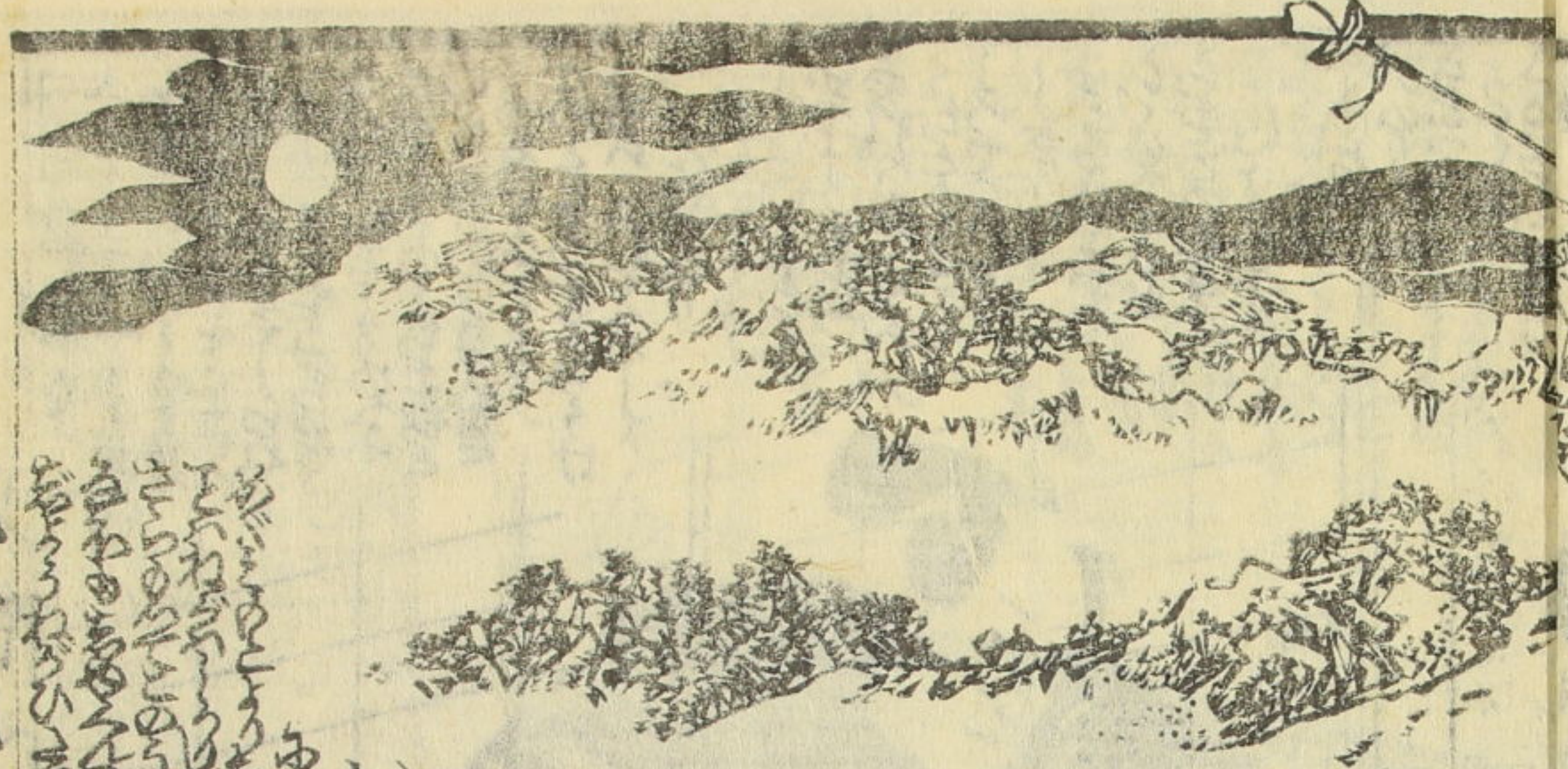


刀屋半七
一度
清澄
半七



Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items related to the illustration above.

Handwritten text in a cursive script, continuing the commentary or list from the previous page.



Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items related to the illustration above.



Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items related to the illustration above.

Handwritten text in the top right corner of the right page, written in a cursive style.



Handwritten text in the bottom right corner of the right page, written in a cursive style.

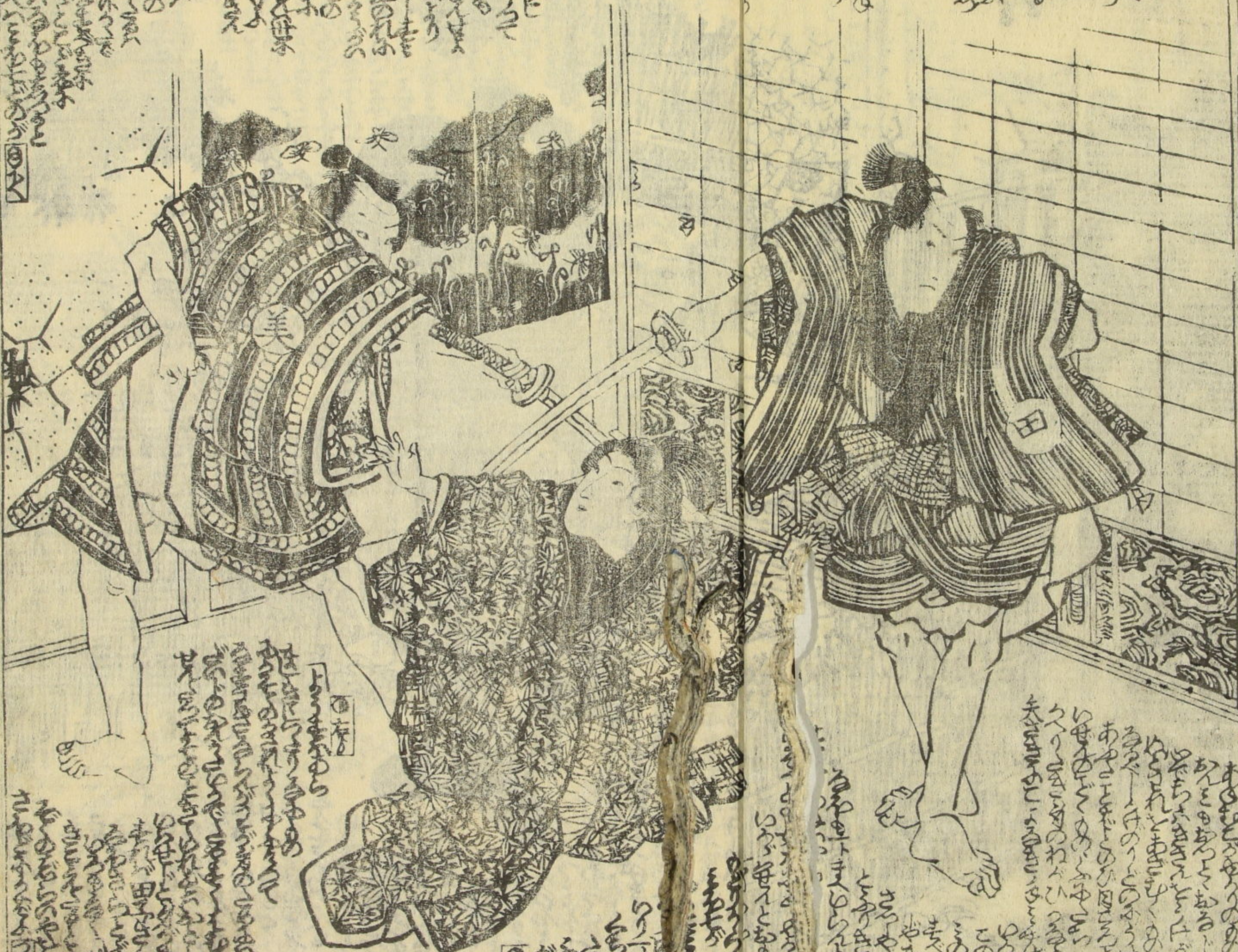
Handwritten text in the top left corner of the left page, written in a cursive style.



Handwritten text in the bottom left corner of the left page, written in a cursive style.



Handwritten text in Latin script, likely a transcription of the scene's dialogue or a commentary. The text is arranged in several lines, starting with 'Et sic' and ending with 'et sic'.



Handwritten text in Latin script at the top of the page, providing a transcription of the scene's dialogue or a commentary. The text is arranged in several lines, starting with 'Et sic' and ending with 'et sic'.

Handwritten text in Latin script at the bottom left of the page, providing a transcription of the scene's dialogue or a commentary. The text is arranged in several lines, starting with 'Et sic' and ending with 'et sic'.

Handwritten text in Latin script at the bottom center of the page, providing a transcription of the scene's dialogue or a commentary. The text is arranged in several lines, starting with 'Et sic' and ending with 'et sic'.



Handwritten text in the upper left corner, including the name '山田' (Yamada) and other characters.

Handwritten text in the upper middle section, including the name '岸' (Kishi) and other characters.

Handwritten text in the middle left section, including the name '山田' (Yamada) and other characters.

Large block of handwritten text at the bottom of the page, including the name '山田' (Yamada) and other characters.

Vertical text on the right edge of the page, including the name '山田' (Yamada) and other characters.

種員作國輝画

此の種員作の國輝画は、
 手澤生肌膏、
 金膏、
 奇功紙、
 即愈、
 此外功註多、
 新吉原、
 柳下亭、
 真土山、
 柳下亭、
 手澤生肌膏、
 金膏、
 奇功紙、
 即愈、
 此外功註多、
 新吉原、
 柳下亭、
 真土山、
 柳下亭、



此の種員作の國輝画は、
 手澤生肌膏、
 金膏、
 奇功紙、
 即愈、
 此外功註多、
 新吉原、
 柳下亭、
 真土山、
 柳下亭、

兒雷也豪傑譚

廿四編
 廿五編
 廿六編
 廿七編

柳 一雄齋國輝画

假名一休草紙
 及古

五編 六編 七編
 柳下亭種員作
 一雄齋國輝画

楠二代軍記

海望亭作
 芳虎画

櫻紅葉命棧

琴彦作
 芳希画

新編金瓶梅

馬琴作
 豐國畫

地本錦繪問屋

芝神明前 甘泉堂和泉屋市兵衛板



下

芝神明前和泉屋市兵衛版

表題世の風





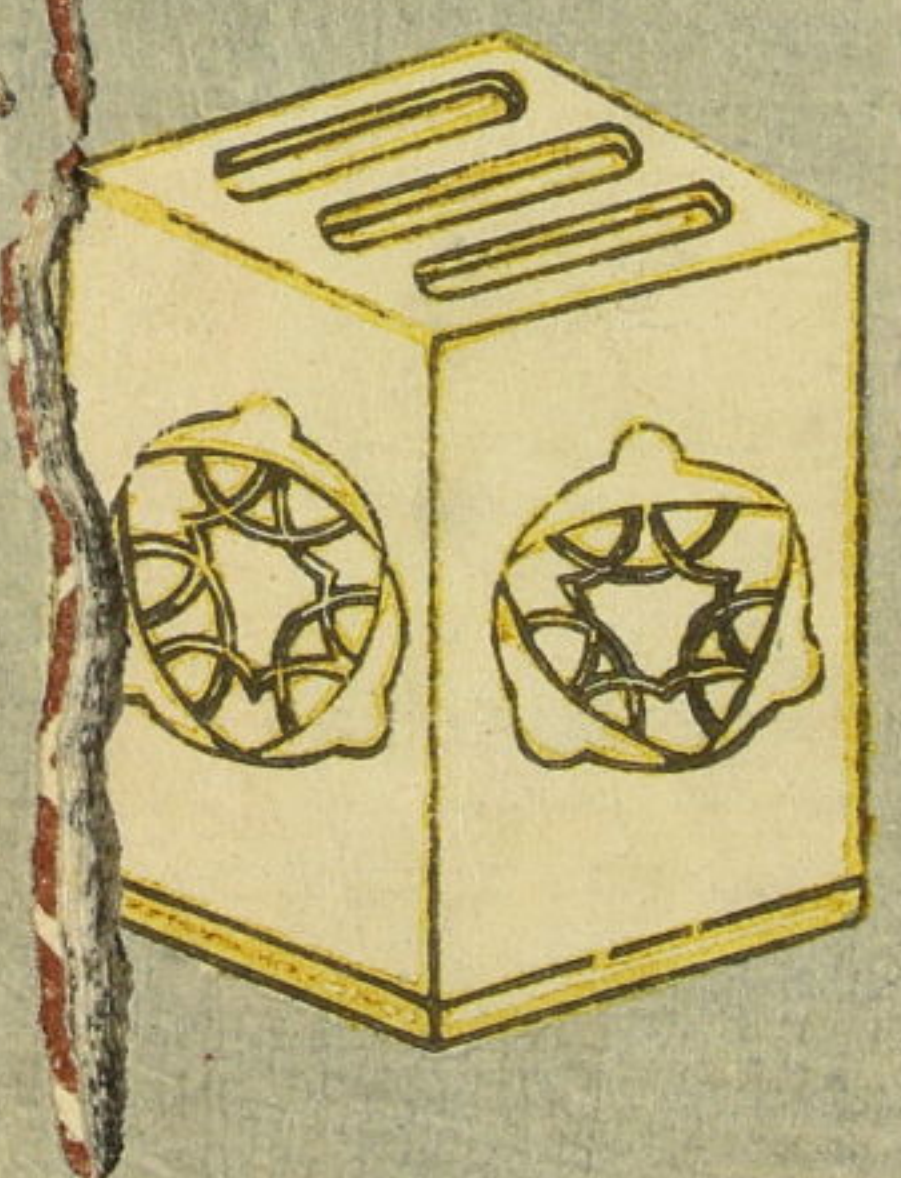
種貞化 十九篇
 國輝画 下の巻

高麗

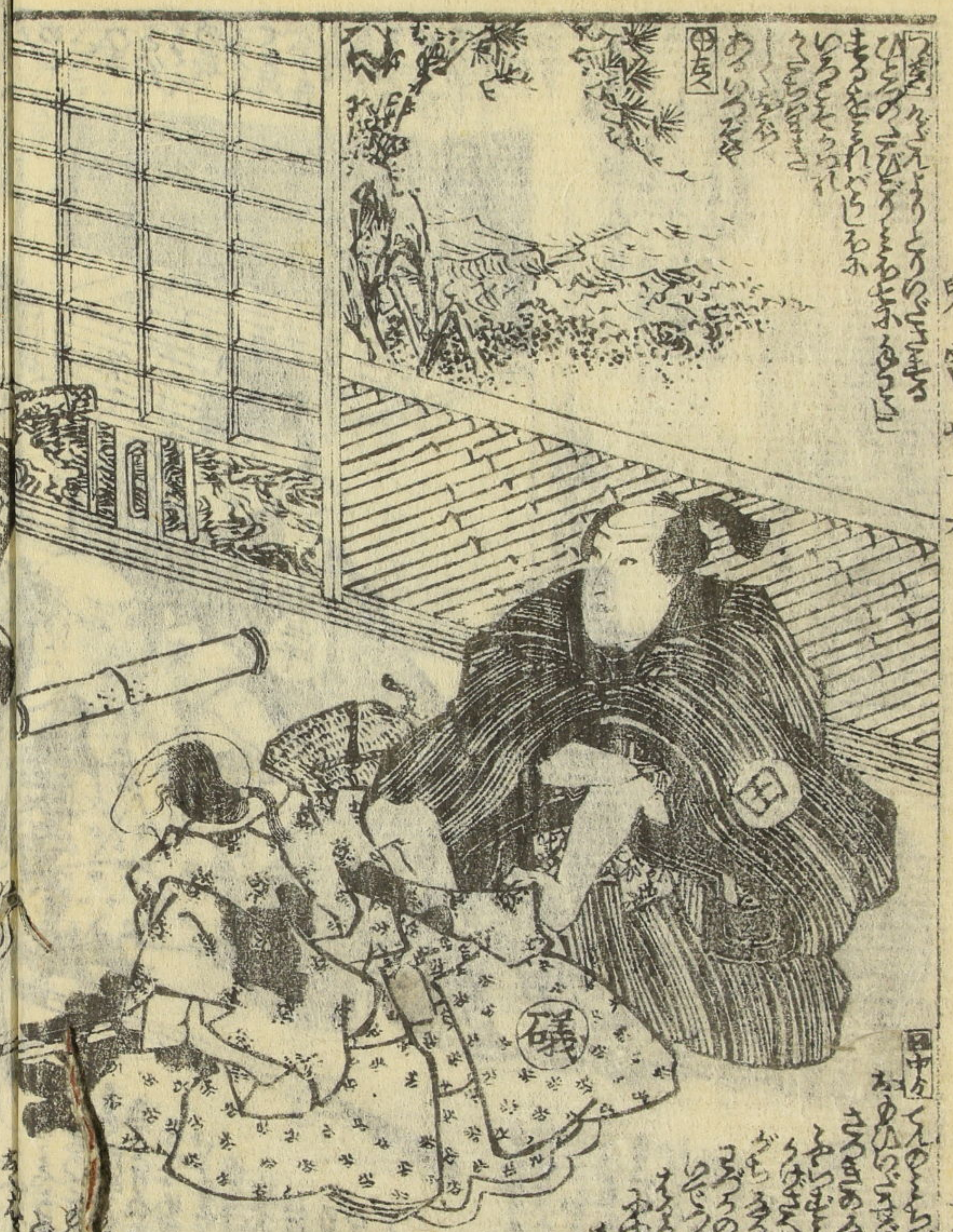
振量妖術
 大増修業
 志良伊屋
 物笑



家布板



○五
○六
○七
○八
○九
○十
○十一
○十二
○十三
○十四
○十五
○十六
○十七
○十八
○十九
○二十



○一
○二
○三
○四
○五
○六
○七
○八
○九
○十
○十一
○十二
○十三
○十四
○十五
○十六
○十七
○十八
○十九
○二十

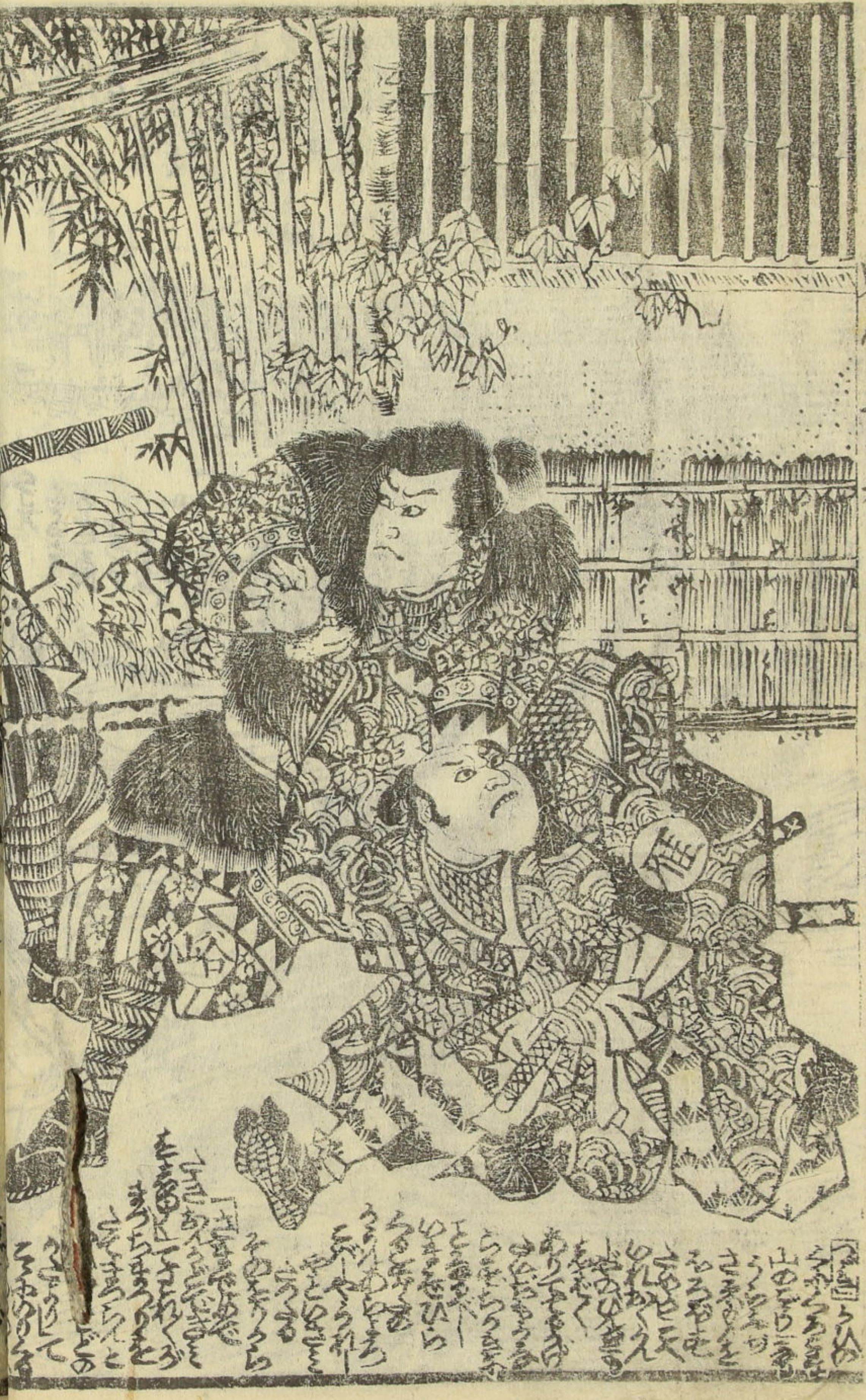
○一
○二
○三
○四
○五
○六
○七
○八
○九
○十
○十一
○十二
○十三
○十四
○十五
○十六
○十七
○十八
○十九
○二十



○一
○二
○三
○四
○五
○六
○七
○八
○九
○十
○十一
○十二
○十三
○十四
○十五
○十六
○十七
○十八
○十九
○二十

○一
○二
○三
○四
○五
○六
○七
○八
○九
○十
○十一
○十二
○十三
○十四
○十五
○十六
○十七
○十八
○十九
○二十

○一
○二
○三
○四
○五
○六
○七
○八
○九
○十
○十一
○十二
○十三
○十四
○十五
○十六
○十七
○十八
○十九
○二十



Handwritten text in the top right corner, likely a title or introductory text for the scene.



Handwritten text block located to the right of the main illustration, possibly describing the character or the scene.

Handwritten text in the top left corner, providing context or dialogue for the scene.



Handwritten text in the bottom left corner, likely a continuation of the scene's description or dialogue.



河長松
松の葉は
心なれど
これぞ
松の葉
の味
は
心なれど
これぞ
松の葉
の味

河長松

松の葉は
心なれど
これぞ
松の葉
の味
は
心なれど
これぞ
松の葉
の味

松の葉は
心なれど
これぞ
松の葉
の味
は
心なれど
これぞ
松の葉
の味

松の葉は
心なれど
これぞ
松の葉
の味
は
心なれど
これぞ
松の葉
の味

松の葉は
心なれど
これぞ
松の葉
の味
は
心なれど
これぞ
松の葉
の味



泉閣七十九
初編二編
柳下亭門人
柳焯亭種久作
一雄齊國輝画

右の如く種員抜合のさし
當子年早春のついでに
柳焯亭種久作
柳雨亭種安合作



泉閣七十九
初編二編
柳下亭門人
柳焯亭種久作
一雄齊國輝画

右の如く種員抜合のさし
當子年早春のついでに
柳焯亭種久作
柳雨亭種安合作

泉閣七十九
初編二編
柳下亭門人
柳焯亭種久作
一雄齊國輝画



児雷也 北編

魔王権現

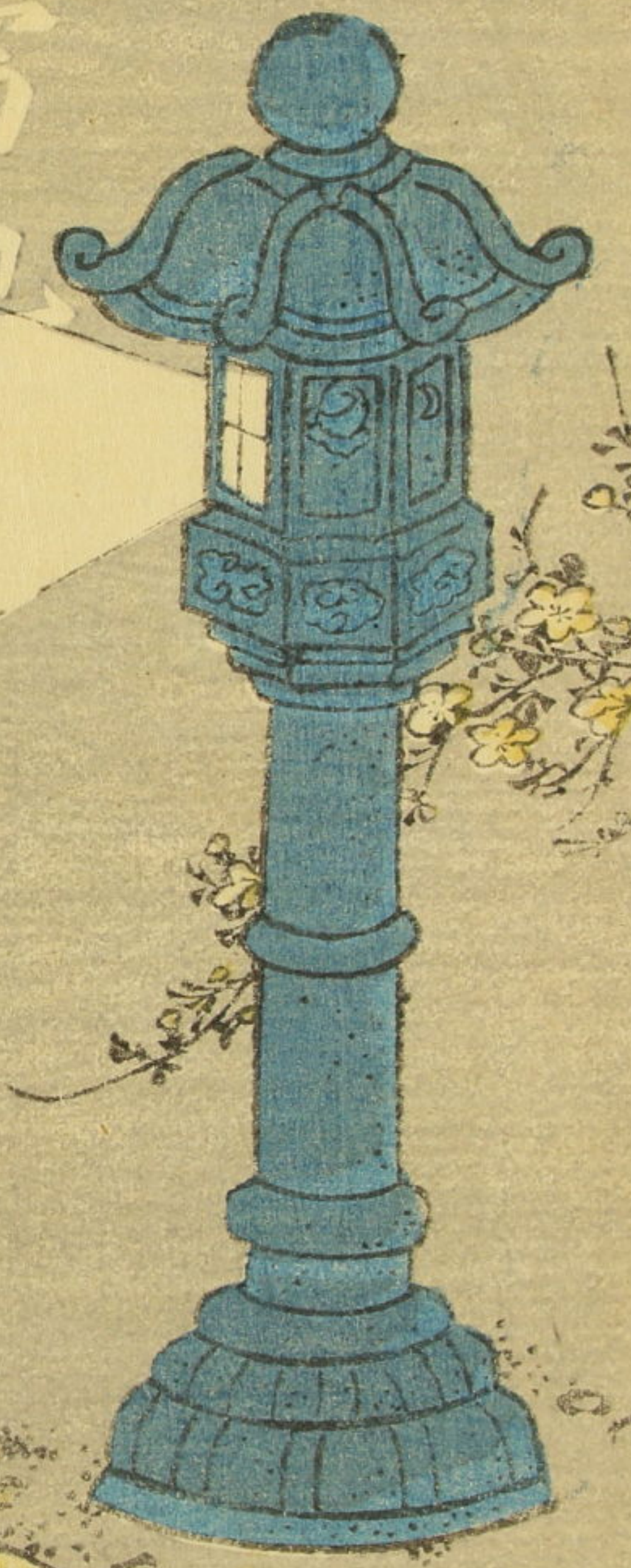


種員 兒雷也

豪傑

譚 國 輝 画

第廿編上冊



前巻も言此書元稿美圖垣大入中頃一筆菴の著述より終繼
 の多めや英白泉子の至て文中聊誤あり一度兒雷也が手小帰入藥籠を
 勇見之助が彼所持一殺害され一母精と存生様ふの且尾形弘純の筑
 紫の城主と二編ふあると越後の領主なりと甘り予は笑顔子の條ふ倣
 て則肥後の國人とま此他初編ふ紛失するも吹雪形漆の茶入といひ
 五編より後行衛蘭老濠於強と尋て用お彼是と補叙まねも專吉と
 りの弘行が美理ある姉深雪が偽名とを別人のどく小あるやこれのま
 亦補正かこしさいの錯乱るがらも藥籠の事と死々人を生るのま
 一の最良あり藥小依て回生と看るるく頗妙女一筆菴が無二筆の
 名譽と頌美するの余り叙詞小換て誌るりたり

嘉永壬子年正月

柳下亭種員識



目録七編



夫木集
 くれなゐの
 色もつゝ
 候ねれは
 ちむや
 あらうらな

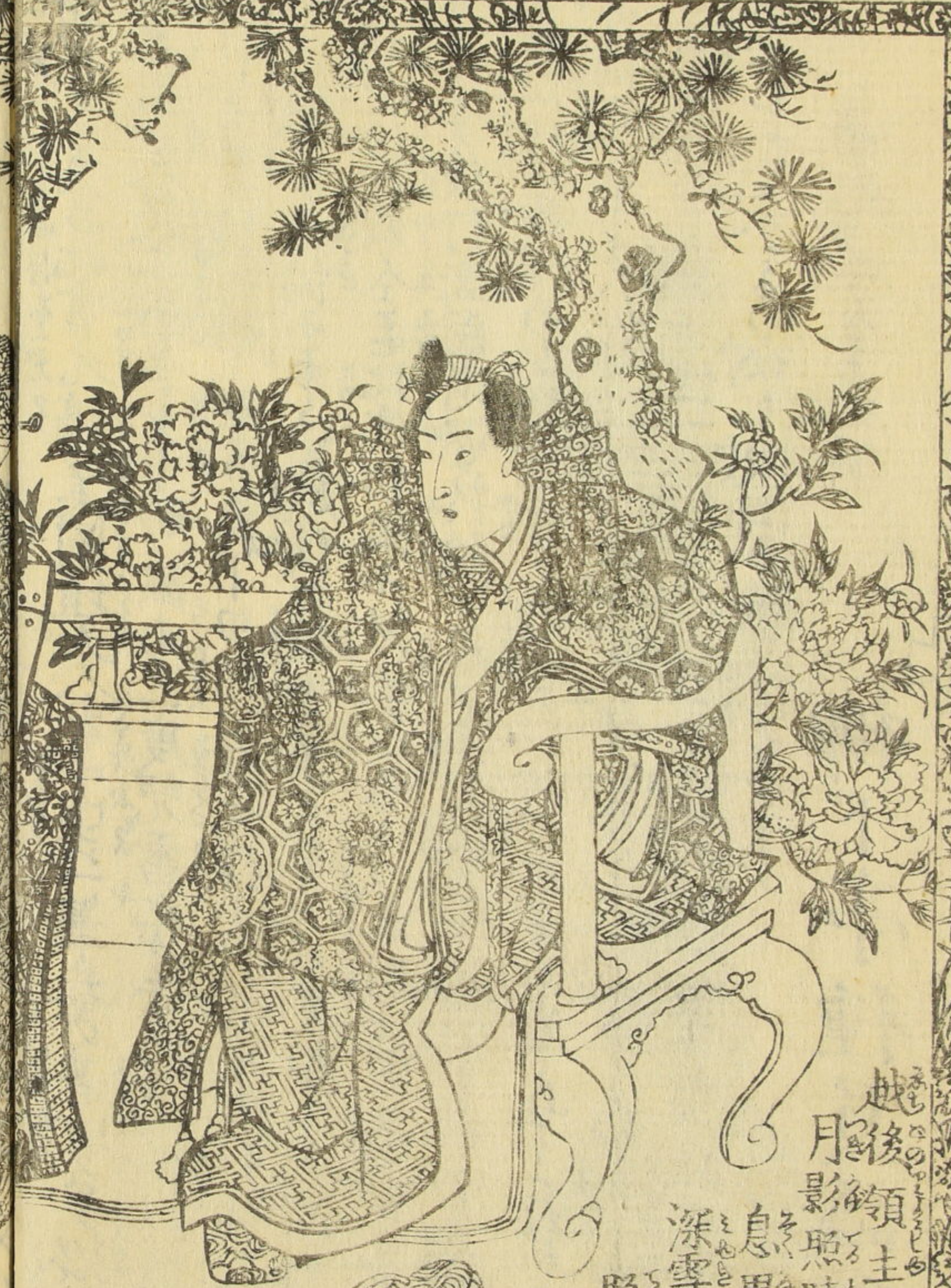
田
 毎
 前



同家
 中老
 関屋

己
 言
 七
 篇

三



越
 後
 領
 主
 影
 照
 時
 の
 息
 男
 深
 雪
 之
 助
 照
 道

己
 言
 七
 篇

重家々集

廿日や侍

病もあられ

あええええ

候ちよ花の

あひ

いろく

詞花集

よき

よき

あふあ

まき

花の

あ

は見

ま

濱萩
陸三郎

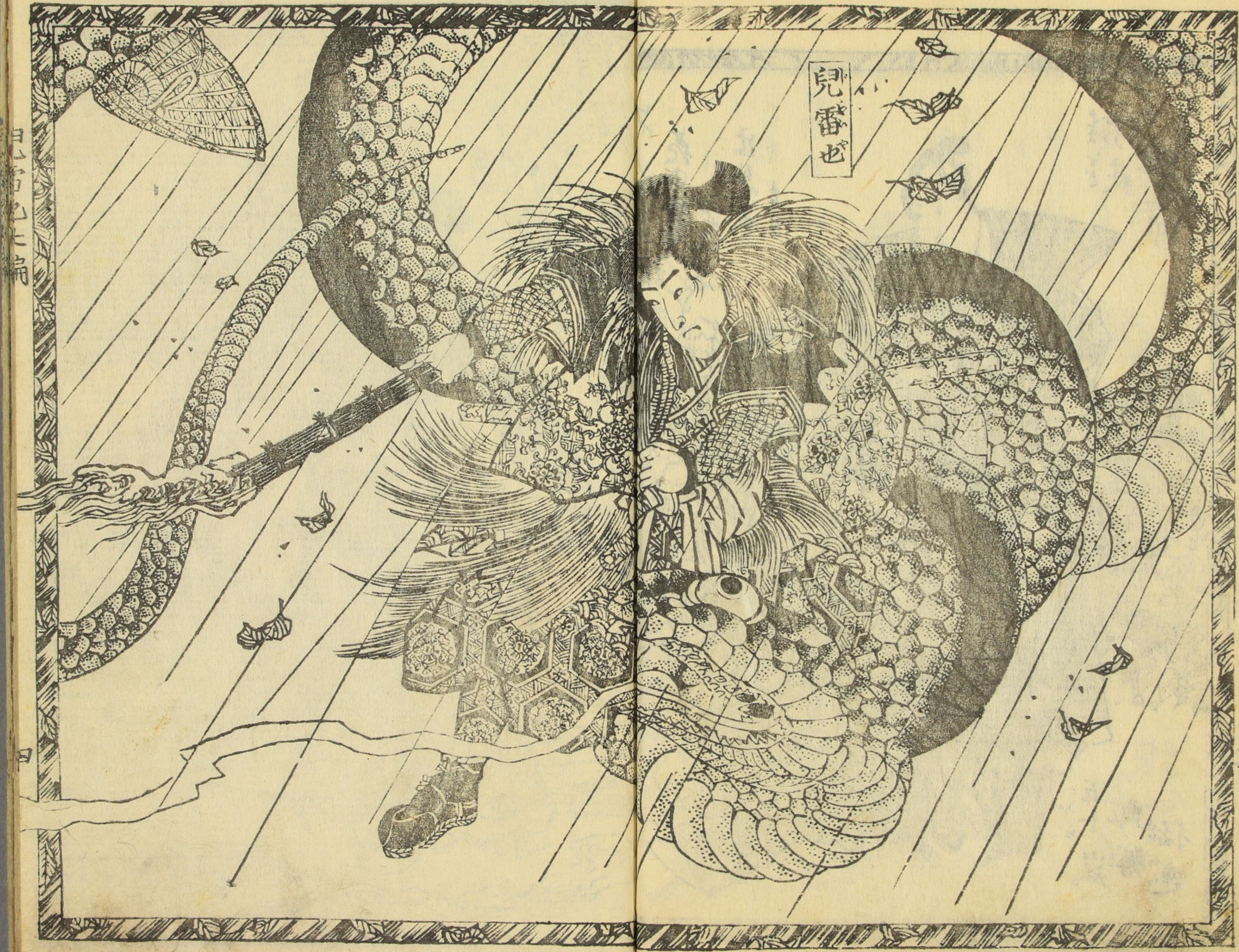
陸三郎

五ノ山風
典膳
猛連

勇婦
綱手

日記七編





兒番也

五ノ四ノ三ノ部

兒番也



種員作
國輝画

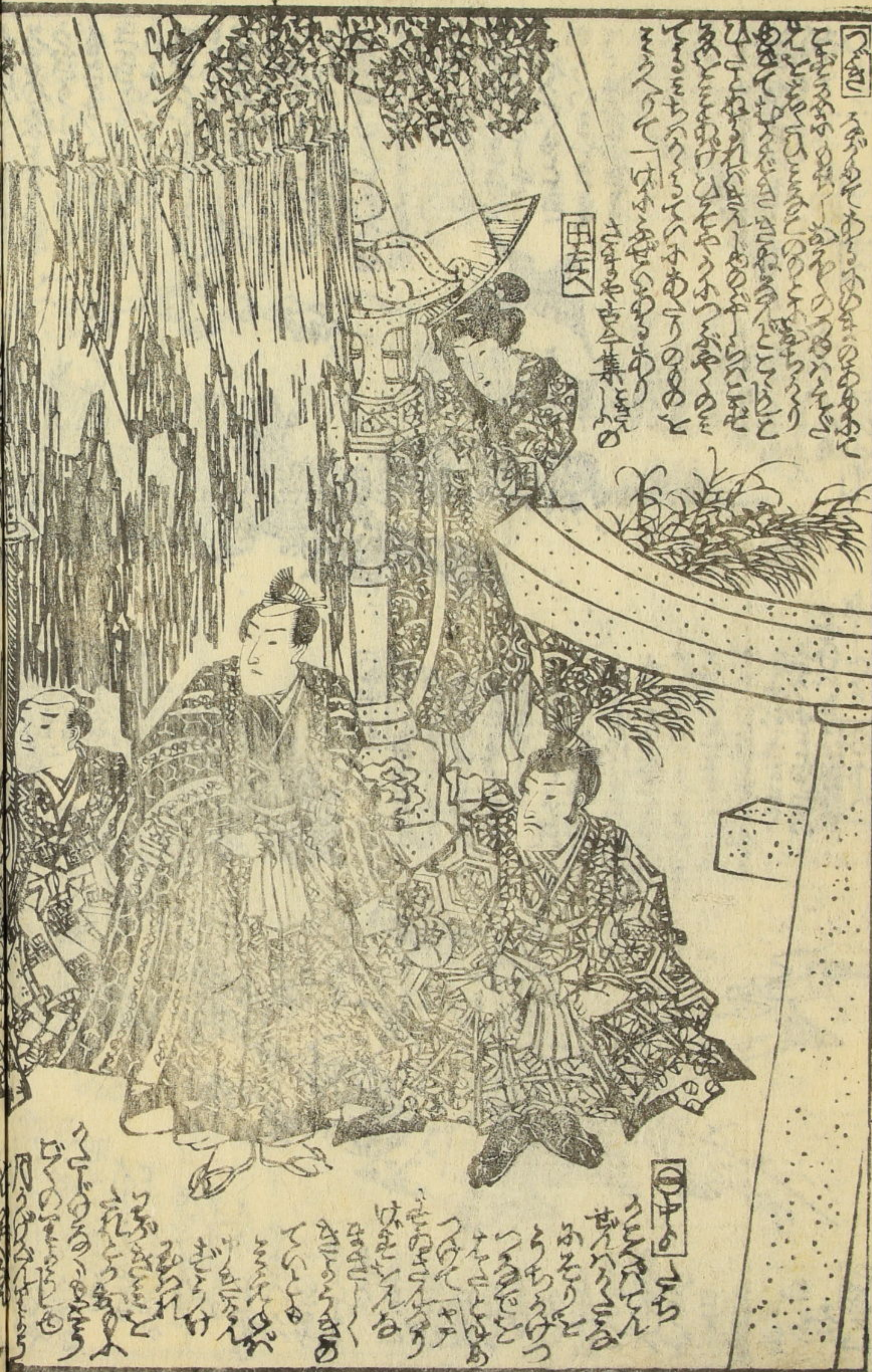
表題曲五國恋

下



戸田七太郎の物語
戸田七太郎の物語
戸田七太郎の物語
戸田七太郎の物語
戸田七太郎の物語
戸田七太郎の物語
戸田七太郎の物語
戸田七太郎の物語
戸田七太郎の物語
戸田七太郎の物語

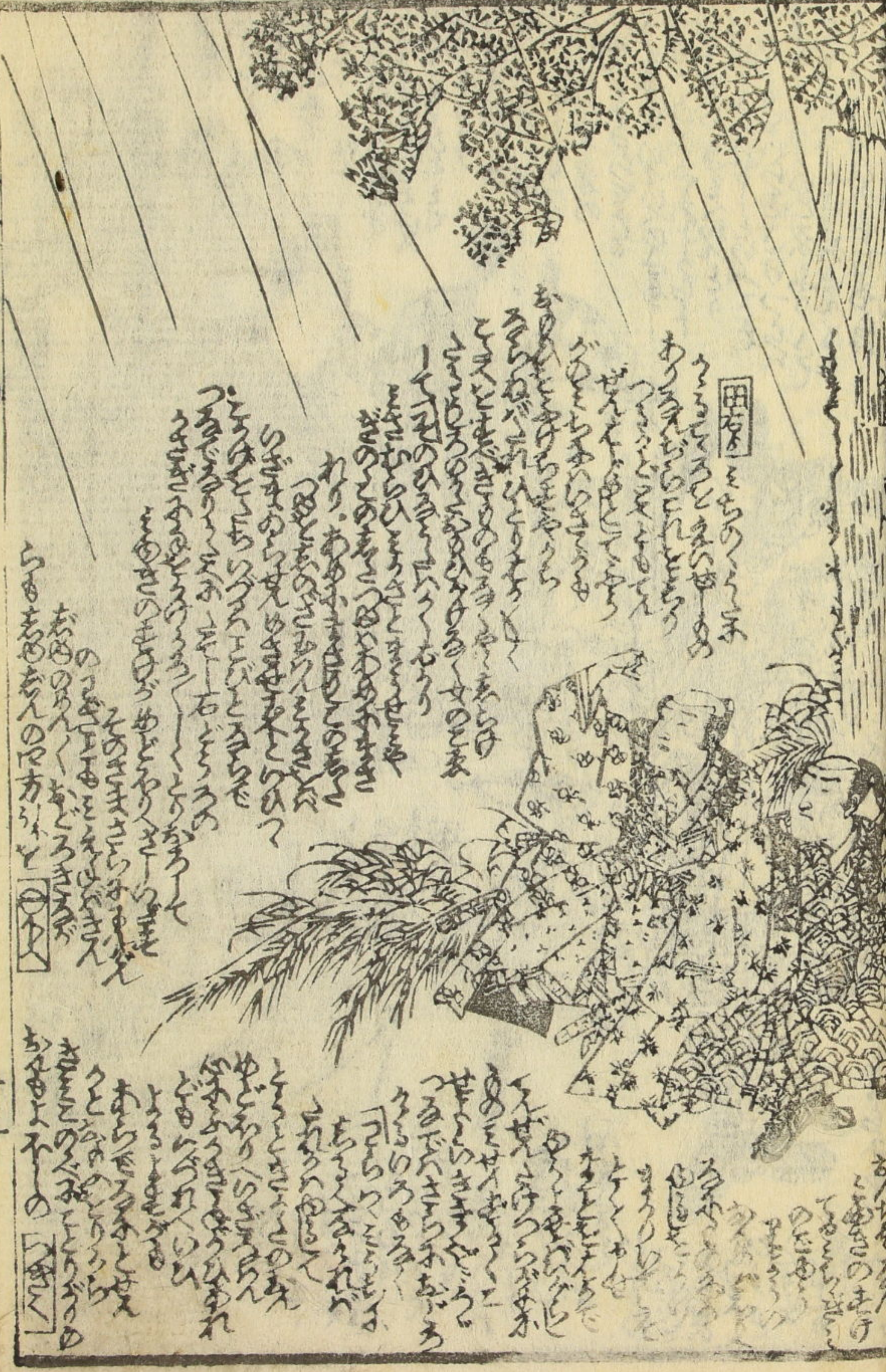
田代



田代

田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語

田代

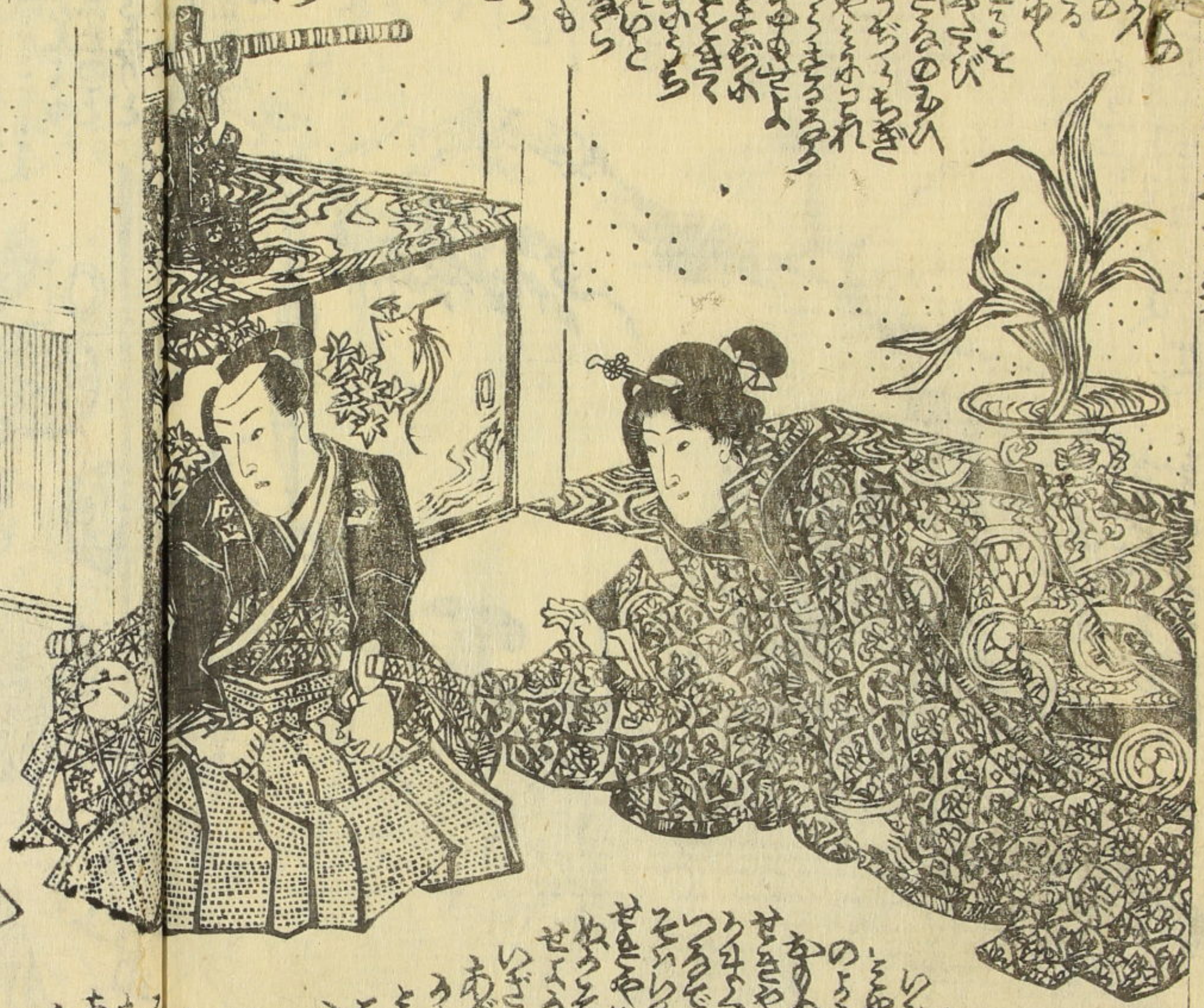


田代

田代

田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語
田代の物語

Handwritten text in the top right corner of the right page, written vertically in Japanese characters.



Handwritten text in the bottom right corner of the right page, written vertically in Japanese characters.

Handwritten text in the top left corner of the left page, written vertically in Japanese characters.



Handwritten text in the bottom left corner of the left page, written vertically in Japanese characters.

嘉永六年癸丑孟陬發市標目

禁
 玉壺生肌膏 一具 三十六孔
 金瘡 奇功紙 一枚 二十四孔
 此他切は最もやくやくくは紙ふちるま



洋書
 心酔

製菓所新吉原 玉 樓
 賣弘所真生東屋下 柳下 樓

種員作國輝画

兒雷也豪傑譚

廿一篇 柳下亭種員作
 廿二篇 一雄齋國輝画
 廿三篇

今業平昔面影

六篇
 七篇

祥瑞白菊物語

五篇
 六篇

新編金瓶梅全輯

自初編 曲亭馬琴翁作
 至十編 一陽齋豊國画
 大尾

書肆甘泉堂芝神明前 和泉屋市兵衛版



兒雷也

豪傑譚

第廿編

柳下亭種員作

一雄奇國運画

